

平成 28 年 長野県諏訪二葉高校同窓会東京支部 参加報告

平成 28 年 5 月 17 日火曜日東京都千代田区飯田橋「ホテルメトロポリタンエドモント」にて、長野県諏訪二葉同窓会東京支部が盛況に行われました。招待をいただき、小池良彦学長、竹花光子会長、桜田智子副会長、小林佐江副会長、小林真理枝副会長の四名で参加いたしました。会場前の受付ホールでは、あちらこちらで再会の喜びあふれる笑顔が広がり、あいにくの雨を吹き飛ばすようでした。総勢 145 名という本部総会を越える参加者は、東京支部の歴史とパワーそのものです。

懐かしの校歌が会場に響き渡った後、第一部総会が始まりました。支部長の挨拶では、東京支部運営の経営的状況の厳しさに対する丁寧で真摯な説明があり、会場には静かなうなずきが見られました。

来賓挨拶として、小池校長から、卒業生の進学先やアンケート調査の結果報告がありました。熱心に聞き入っている会場の皆様のつぶやきから、二葉生に対する変わらぬ愛情を感じました。竹花会長は東京支部が始まった当初の懐かしい写真をお土産として紹介し、東京支部に対する敬意を語られました。各テーブルに用意された写真に見入り、なんとも感慨深げな表情をなさっている皆様の表情が印象的でした。

平成 27 年度の事業報告では、内規において、「80 歳以上の維持費は賛助会費とし、納入は任意とする」や「同総連参加における交通費は一名分支給し会費は自己負担とする」等、熟考された現実的な改正が認められました。平成 28 年度予算案では、平成 27 年度東京支部予算報告を受け、東京支部同窓会基金を予算額一部として使用する案が初めて出されました。会場からは気持ちよい承諾の意思表示があり、ご出席の皆様が東京支部存続のために、運営の厳しさを共有し乗り越えようとしている気概を感じました。

平成 28 年度東京支部事業計画での提言、①同窓会維持費納入率向上②若い世代(男性含む)の意識調査及び会員の拡大③時代の流れやニーズに対応した会の運営推進の三点には、それぞれ具体的な行動計画が提案されていました。同窓会本部役員として大きな示唆をいただきました。

第二部講演会では、諏訪清陵高校出身のフォトジャーナリスト中村梧郎氏が招かれました。中村氏は「フレーム語りかけるものー戦争の現場からー」と題し、ベトナム戦争、枯葉作戦、福島原発事故を写真でふりかえり、ジェノサイド問題沖縄問題を鋭く言及しました。視覚を通して心に直接訴える中村氏の写真に会場中が見入り、未来を思う貴重な機会となりました。

講演会講師過去一覧には、昭和では、平林たい子様・村岡花子様・平岩弓枝様・藤原てい様・八木治朗様・小沢昭一様…、平成では、小林和男様・大村はま様・平位康三郎様・笠井信輔様・柳澤寿男様…と実に多岐なジャンルで、かつ、それぞれの世界で極めた大変著名な方々を講師としてお呼びしていることが記されていました。その見識の深さに感服しつつ、東京支部の力と熱意を本部活動へのエネルギーとする意を固め、東京を後にいたしました。

(記録 小林佐江)